

# 広報 たかのす

平成3年

12月15日

№. 710

発行日 毎月1日・15日

編集と発行 鷹巣町役場総務課広報秘書係

〒018-33  
秋田県北秋田郡鷹巣町花園町19番1号

TEL 0186(62)1111  
FAX 0186(63)2586



「ここに空港ができるんだよ」

～見えるでしょう、風が、ロマンが、空港が～

11月29日、大館能代空港が国の第6次空港整備5ヶ年計画に組み入れられました。需要確保、周辺開発という条件が付けられていますが、県・町・空港建設期成同盟会では、平成10年開港に向け、全力で条件をクリアすることを確認し合いました。地域の悲願達成にそして子どもたちの夢と希望を乗せる空港にますます期待が高まります。

## 人口と世帯数

(住民基本台帳による)

11月30日現在	(前月比)
総人口 23,833人	(11人増)
男 11,548人	(4人増)
女 12,285人	(7人増)
(出生 14人 転入 48人)	
(死亡 18人 転出 33人)	
世帯数 7,346世帯	(増減なし)



# 空港は決まった

# でもこれからはどうするの

第九回「公民館まつりと生涯学習交流会」が十二月一日（日）、中央公民館を会場に多くの参加者を迎え開催されました。午前中行われたのは「空港とあしたのふるさと」をテーマにしたパネルディスカッション。四人のパネラーが三沢宏さんの司会で提言を述べ、参加者との間で空港とまちづくりについて話し合われました。午後からは藤内絢一さん（秋田県企画調整部次長＝今泉出身）による「地域の活性化」を演題とした講演が行われました。パネルディスカッションと講演の内容をご紹介します。

## 閣議決定は地域住民の熱意の成果

沢口地区自治会会長 畠山 東 さん

最初、大野台に空港の話が持ち上がった時は夢のような話だと思っていました。それが今、閣議で決定されたことはまさに地域住民の熱意の成果でしょう。

私も陳情団として参加しましたが、あしたのふるさとを考

える時思うことは、過疎を解消し地域を活性化させるための起爆剤として空港がどうしても必要なのだということでした。

私たちのふるさとはずばらしいところだと思えます。東京在住の鷹巣町出身のあるこ

婦人は、最近鷹巣に帰ったことがないけれど、子供にはふるさとのきれいな星空を見たいとおっしゃっていました。空港の実現で時間的な短縮が可能になれば、いろいろな分野でこれまでとは違ってくると思うのです。

私は空港予定地の地元というところで「なぜ反対運動がないのか」という新聞の取材を受けることがあります。そ

れは空港の実現で若者の定着を図り、地域の活性化、過疎の解消につなげようとする地域住民の願いがあるからこそ当然反対は起きないのです。空港が実現しいろいろな企

## 野菜生産でフライト農業の確立を

新たかのす農協営農担当 岩本幸悦さん

まず始めに鷹巣町の農業の現状をお話しします。これまでに農業収入においては米と畜産がほとんどでしたが、ここ数年で野菜の生産も大幅に伸びてきております。

今年四月から九月までの実績で生産高六百二十六トン、金額にして一億六千四百万円です。年間になると三億円を越え、農協を通らないものを加えますと約四億五千万円の生産額ということになります。

水稲の生産額は三十数億円ですからまだまだ微々たる量ですが、将来的には十億円に持つていきたいと考えております。

「フライト農業」では、全国の事例を見ますと九州福岡のネギ、大分のしいたけが有名で、生産額は年間数十

業が進出することで、若者が自分に合った職場を選択できるようにになります。そうなって初めて若者の定着が可能になるのではないのでしょうか。

業が進出することで、若者が自分に合った職場を選択できるようにになります。そうなって初めて若者の定着が可能になるのではないのでしょうか。

例えば、大分の市場から暖冬のため生しいたけが不足しすぐ送ってくれという電話をもらったこともありますし、



フライト農業についてはかなり期待しております。五、六年後には花や山菜などキログラム単価の高い、少

## 地元工業を育成する企業誘致に

鷹巣町商工会青年部長 成田憲史さん

鷹巣町商工会は七百七十の事業所からなり、商業部会と工業部会に別れています。私は青年部に所属し、経営についての講習会や研修会の開催、また冬期には「雪づけまつり」というイベントを開催しています。

この地域の商業は農業に依存しています。というのは農業の生産性が商品の購買力に大きく影響するからです。またその購買力をいかに引き出すかが問題です。

商工会では大型店（ショッピングセンター）の建設について現在盛んに議論しておりますが、これからは阿仁部を含めた商圏の中で、大型店を中核として活性化を図ってい

## 中央の文化にふれ豊かな精神生活を

公民館講座受講者 成田トヨさん

四年前に退職し、主婦に専念していましたが、毎日の生活だけでは体が縮む思いがしましたので、公民館講座の

量生産の野菜が増えるようになるでしょうからそうなると思います。フライト農業に期待がかかるでしょう。

かなければならないでしょう。空港の周辺整備でパイパスなど道路もよくなり、さらに鷹巣の位置付けが重要になってくると思われます。

先日庄内空港の視察に参加しましたが、工業においても出荷額など開港後めざましい伸びを示しているようでした。しかし、航空貨物で採算がとれるものは小さくて価値の高い物ですので、ハイテク企業の誘致も進める必要があります。

また、企業が進出しても地元の工場がつぶれたら何にもなりません。地元の工業を育てる形の誘致運動をしていきたいと考えています。

また、私たち夫婦は二人とも本を読むのは好きでしたがただ読んでいるのでは老化が進むような気もし、二人で読書会に入りました。

読書会では月に一度、一冊の本をテーマに合評会がありいろいろな考え方を伺うことができますのでたいへん勉強になります。

絵画もいつか習いたいと思っていました。最初は通信教育を受けていましたが一人で難しく、公民館講座を受講しました。時間が少なくなかなか描けませんでしたが、楽しみながら続けられればそれでいいと思っています。

講座には「ホークスアカデミー」もあり、社会見学などで勉強させていただいております。

空港について私が思うことは、実現すれば中央の文化に触られるということだと思います。

本場の歌舞伎や演劇、美術展や音楽の演奏を楽しむ機会が増え、個人の精神生活が豊かになるのではないのでしょうか。そのことが豊かなふるさとづくりにもつながるものと思っております。

# 公民館まつり記念講演

## 「受け身」では地域おこしはできない

### 講演テーマ「地域の活性化」

秋田県企画調整部次長 篠内 絢一氏

#### 人口減少に

##### 歯止めを

まず始めに、鷹巣町の現状を数値で表してみましよう。

人口については、平成二年国勢調査で二万三千六百二十

八人、昭和四十年と比べ二千六百十六人減少しています。

また一人の女性が子供を産む数は昭和二十五年で四・一人、平成元年には一・五七人と減少し、子供二人を生んでいないことになりました。

一方、産業別就業者を見てみても三十年前、農業就業者が五十九%を占めていたのが現在では十九%になるなど農業からの転職が増えています。

また来年三月の、県内の高卒の就職者は平均で六十一%ですが、県北は五十%を割っています。

こうした数値を踏まえ県は「新総合発展計画」を策定しましたが、内容は人口の減少、若年層の流出といったことへの対策として可能な限りの事業を行うというものです。

#### 日本全国を

##### 三時間で

この発展計画の中で最も大きなプロジェクトとして捉えているのが全国一日交通圏への参入です。

これは秋田から全国のどの都市へも三時間で行けるようにするというものですが、点としては大館能代空港、線としては日本海縦貫自動車道などの道路網の整備です。県内を九十分、圏域内を三十分で往来できれば日本全国を三時間で結ぶことができるのです。その結果、この地域に都市機能が育ち、中規模の消費経済、文化を享受できるようになります。

地域の活力は交通体系が整備されていることによる人の往来、そして物流です。空港ができることで人の往来が可能

能になりますから、これからは私たちの頑張りようでもありません。そのため、企業の誘致についても、企業が求めている機能をこちらで用意、そしてPRし、企業を引きつける必要があります。

#### 秋田県人は

##### お人好し

秋田県人は精神的にまだまだ豊かではないでしょうか。山形県人は三人集まると「空港ができるそうだから何かうまい儲け話はないだろうか」という話をしますが、秋田県人は「ちよっと一杯飲みにいぐが」になります。これではだめです。企業が来ても何か取ってやろうとする意図がなければいけないのです。

今後、高齢化は早いテンポで進みます。早急に若者に魅力のあるまちづくりを進めなければなりません。若者には夜五時以降集まれる空間が必要。しかし、今の鷹巣の商店街は暗い。商店街の人達はお客が来ないから店を閉めるのではなく、開けていれば人が来る、という考えに立ち、それを实际行动に移すことが必要です。

それから、空港は地元の人

が使うばかりではなく向こうからきてもらわなければなりません。そのため、観光開発を急がなければならないのです。

#### 家族みんな

##### 喜らせるまちを

今鷹巣の人達はこうしたことを天命と受け止め、腹をくくって取り組まなければならぬでしょう。

行政に頼らず、町民自身は何をやればいいのか考え、手伝えるものを行政が音頭を取る、そうしないと真の活性化にはつながらないのです。

空港ができるまでは時間がありませんが、「まだ時間がある」と思っているのは遅いのです。

こちらの人は距離を空間で考えますが東京の人は時間で考えます。要するに「価値観」の問題です。

いま、集落の一体感が希薄になり、家族の連帯が消えかけています。若者を定着させ、子供、親、そしておじいちゃん、おばあちゃんが一緒に暮らせるかのような生活に戻して行くのが私のいま望んでいる「価値観」です。



# 町中喜びで一色

## 大館能代空港の六次空整組み入れ決定 報告会が開かれ条件克服へ全力



▲町長から待ちに待った閣議決定の報告を受ける恵比原助役ら

十一月二十九日は、昭和五十九年九月県議会が北秋田郡への空港建設の陳情を採択してから、期成同盟会など百回を越える陳情に地権者も加わり、さらに約七十三億円のフライト預金などで示された地元熱意が成就した日です。この日は、航空審議会の答申を受けた閣議が午前九時、から開かれる予定でしたが、十二時四十五分頃から始まりました。地元鷹巣町では、十時頃の決定と予想、町長室で第一報を待ちました。

◀決定報告と同時にたれ幕がおろされた役場庁舎



大館能代空港組み入れ決定報告会で喜びの乾杯をする町民

午後一時二十八分に上京中の岩川町長から「閣議で正式に決定しました。町民の皆様と一緒に運動をしてきた結果ができました。すぐに報告をしてください」と喜びの報告が入り、恵比原助役が「万歳です。すぐこの結果を町民にお知らせします」と答えると、待機していた藤島協議会長・

今川議長・成田収入役らが喜びの握手をかわしあいました。約二百五十人が待つ中央公民館の報告会場では、拍手と万歳の声があがりました。同二十九分に決定を伝えるのろしが連発である町内ではたれ幕や看板が随所に設置され町中に喜びが広がりました。



▲800人を超える合唱と演奏



◀作曲者であり指揮を務めていただいた佐藤菊夫氏



▲町内7小学校から280人が参加

# ふるさとを讚えよう

## 11月17日ふるさと讚歌発表会

ふるさと鷹巣町への愛着と思いを歌いあげる「たかのす讚歌」が完成し、十一月十七日（日）鷹巣体育館で発表会が行われました。発表会には町内の小中高校一般から約八百人が参加、練習を重ねた合唱と演奏で詰めかけた観衆を魅了しました。讚歌の指揮は作曲家でもある秋田市出身の佐藤菊夫氏。三楽章編成の讚歌には一般から作詞を公募した曲を挿入しており、会場は郷愁の思いと感動であふれていました。



▲ 独唱の三沢由美子さん



▲第1部では鷹高南中・鷹中のブラスバンドが行われた



◀子供の発表を見守る父兄など、1000人を超える観衆が詰めかけた



## 年末年始のゴミ収集

◆ 年末年始のゴミ収集は

**12月29日(日)～1月3日(金)  
まで休みます。**

- 休み期間中は、各家庭で計画的に整理し、ゴミ集積所へは絶対出さないで下さい。
- 冬期間は除雪車の運行の妨げにならないようゴミを出して下さい。

◆ 町営ゴミ埋立地(藤株)は

**1月1日(水)～3日(金)まで  
閉鎖します。**

保健課衛生係 (☎62-1111 内線135・136)

- ◇ 「村からのホンネ」山下惣
- ◆ \*新着図書案内\*
- ◇ 「脱走人別帳」早乙女貢著
- ◇ 「超電導ナイトクラブ」村上竜著
- ◇ 「晩年の子供」山田詠美著
- ◇ 「葺と百合」奥泉光著
- ◇ 「闇の足跡」拓植久慶著
- ◇ 「井上靖評伝 覚」福田宏年著
- ◇ 「思いは高く」西谷能雄著
- ▽ 12月15日(日) 13:00～  
「ヤマハクリスマスお楽しみ会」
- ☎石郷岡62-2489
- ▽ 12月22日(日) 12:30～  
「ピアノ教室発表会」
- ☎三沢62-1622
- ▽ 12月23日(日) 14:30～  
「鷹巣町民クリスマスコンサート」(料)五〇〇円
- ☎嶺脇62-1111(役場)

**たかのす風土館  
イベントガイド**  
☎62-3311

- 一著 ◇ 「日本の美術館77」
- 日本テレビ放送編 ◇ 「高齢化社会へのパスポート」樋口恵子著
- ◇ 「窓」森村誠一著
- ◇ 「時計をはずして」伊集院静著
- ◇ 「おじさんとはんだ」秋山豊寛著
- ◇ 「にっぼんちず絵本」戸田幸四郎作
- ◇ 「てとろどときしん」黒川博行著
- ◇ 「脱走人別帳」早乙女貢著
- ◇ 「超電導ナイトクラブ」村上竜著
- ◇ 「晩年の子供」山田詠美著
- ◇ 「葺と百合」奥泉光著
- ◇ 「闇の足跡」拓植久慶著
- ◇ 「井上靖評伝 覚」福田宏年著
- ◇ 「思いは高く」西谷能雄著

# まちの一年をふりかえる

大館能代空港が第六次空港整備計画に組み入れ決定、たかのす風土館オープンなどでにぎわった反面、台風十九号災害、五年連続の米不作に見舞われるなど、私たちの生活に大きくかわる、さまざまなことがあった一年でした。

「広報たかのす」で、みなさんと一緒に町の一年をふりかえてみましょう。

## 一月

1日 第十三回ばりじよっこで、「商売繁盛」の西軍が五年ぶりに勝つ

12日 交通事故死亡ゼロ記録連続五百日達成

16日 「たかのす讃歌」歌詞の受賞者決定。佳作にあげぼの町の田村充子さんの作品が選ばれる

17日 湾岸戦争突入

27日 第二十九回町民スキー大会。数年ぶりの大雪で各種目とも大盛況

## 二月

1日 大館能代空港実現に向け女性だけの陳情

19日 空港を核とした地域づくりをめざして「ふるさと創生シンポジウム」を開催

14日 町内河川道路側溝等のクリーンアップ

14日 町内河川道路側溝等のクリーンアップ

2日 たかのす風土館（ファルコン）総工費十三億八千

28日 鷹巣町朗読ボランティアとあかねグループが、鷹巣ロータリークラブから、「明るい社会賞」を受賞

▽「広報たかのす」が秋田県広報コンクールで優秀賞を受賞

## 三月

4日 15日 三月定例議会

24日 大太鼓の館で「早春大太鼓フェスティバル」開催

## 四月

1日 ゴミ袋が統一される

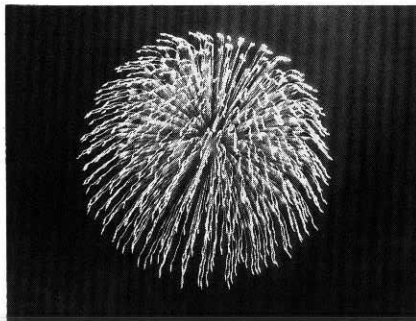
7日 秋田県知事選挙、県議会議員選挙が行われ、知事選では佐々木喜久治氏が四選を果たす

## 五月

1日 蟹沢を今泉を結ぶ黒鉄

鉾さい流送橋が「蟹沢大橋」として誕生

2日 たかのす風土館（ファルコン）総工費十三億八千



20日 第二十九回河田杯マラソン大会、八部門に約三百人が参加  
21日 町長選挙、岩川徹氏が初当選を果たす  
27日 5月6日 第40回中央公園桜まつり。36年ぶりの花火大会には三万二千人の観客が集まる



万円）がオープン。16日間にわたるオープニングイベントに五千九百人余が入場

## 六月

1日 竜ヶ森山開き

2日 第七回ふるさと踊りともちっこ祭り。第7回にあやかり70歳に挑戦した「も

ちのぼし大会」や「ジャンボ流しふるさと創生めん」は好評

14日 前山地区内で交通死亡事故。交通事故死亡ゼロ記録

25日 「ふるさと創生講演会」で村岡兼造運輸相が来鷹。三千六百人が参集し、大館能代空港実現をアピール

12日 浄蓮寺本堂火災  
16日 町小学校交歓陸上競技大会



が「六五二日」でストップ

15日 町内小学校野球大会、バレーボール大会の各決勝

東小がアベックV

17日～27日 六月定例議会で 恵比原修氏を助役に選任

### 七月

1日 たかのす風土館内の、図書館、史料室がオープン

全県少年野球大会北秋田地区予選で鷹中が三年ぶり20度目の優勝

8日 誘致企業二社（「東北メタル(株)」と「(株)エス・エス・ティーシステムズ」）が決定

15日 「緊急通報システム」運用開始

21日 町消防訓練大会



28日 全日本大学相撲大会

31日 大館能代空港実現中央大会。町関係者、在京県人

ら五百人が参加

### 八月

15日 三百三人が新成人の門出を祝う

町民盆踊り大会

17日～18日 鷹巣町出身の直木賞作家渡辺喜恵子さん原作の「みちのく子供風土記」

がたかのす風土館で上演



25日 第二十九回町民体育祭

### 九月

8日 大太鼓叩き合戦夏の陣

郷土芸能どんどこ阿波踊

11日～15日 各地区敬老式

12日 空港建設予定地の地権者が、運輸省、国会議員らに実現のため陳情

15日 県民スポーツ大会ソフトボールの部で、舟場クラブが初優勝

16日 全県おはよう野球大会で、鷹巣パッファローズが二年ぶり三度目の優勝を飾る

17日～27日 九月定例議会で 五代儀英男氏を代表監査委員に、奈良正人氏を教育委員に選任

22日 第三回秋田内陸リゾートカップ百きチャレンジマラソンに約五百人が参加

28日 台風19号が鷹巣町を直撃。住家八十棟全半壊、停電、断水等、被害総額は約八十億円にのぼる



13日 東京鷹巣会が品川プリンスホテルで開催

20日 全県中学女子駅伝大会で鷹中が初優勝

・西小二十周年記念式典

・第十四回歳末民謡チャリテイションが鷹巣体育館で開催

27日 東北中学校女子駅伝大会で鷹中が県大会に続き見事Vを飾る

31日 今年度産米作況指数発表。県北は「88」の著しい不良となり、五年連続の不作に

### 十一月

2日～4日 第二十三回文化祭。産業祭は台風災害のため中止され、チャリティブつくり市を開催



3日～9日 秋の火災予防運動。中央公園で消防団による一斉放水訓練

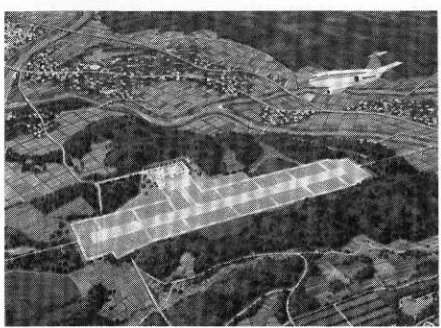
8日 入浴ふとん乾燥車が町社会福祉協議会に配備

15日 鷹巣農免農道全線開通

17日 「たかのす讃歌」発表会。指揮者佐藤菊夫氏

29日 大館能代空港、第六次空港整備五ヶ年計画への組み入れが閣議で決定

▽フライト預金が七十三億四千万円に



### 十二月

1日 第九回公民館まつりと生涯学習交流会

8日 大館能代空港を祝う鷹巣民のつどい

10日～19日 十二月定例議会



新たに購入した除雪グレーダ

# いよいよ 本格的な 冬

みなさんをお願い

■路上に駐車をしな  
いで下さい

■道路に雪を出さない  
ようにして下さい

■家の出入口付近に歩道がある場合は、  
歩行者および、通行車の支障になら  
ないよう雪の処理をお願いします。

■屋根からの雪が道路上に落下しない  
ようにお願いします



▼除排雪の雪捨場所指定について

- 綴子川右岸：鷹巣陸橋、柳生橋、下流一〇〇㊦
- 綴子川左岸：綴子橋上流左岸一〇㊦
- 今泉川右岸：今泉橋上・下流一〇㊦
- 前山川左右岸：前山橋右岸三〇㊦、左岸一〇㊦
- 小猿部川左岸：小猿部橋上流左岸一〇㊦

▼お問い合わせは

- 国道七号線：建設省能代工事事務所大館出張所  
(☎〇一八六―四九―〇三二)
  - 国道一〇五・二八五号線・県道：北秋田土木事務所  
(☎六二―三一―一)
- 町道：役場建設課

## 平成3年度生き生き健康教室

場所 鷹巣町中央公民館ホール  
時間 午後1後～3時

	月 日	内 容
第一回	平成3年12月19日 (木)	健康メモ・すてきなフォームで健康ウォーク 島山 洋子 ●華ある人生をめざして「生きがいと健康」 阿仁町立病院副院長 黒川 一男
第二回	平成4年1月17日 (金)	健康メモ・自然を丸ごといただきますよう —お米、日本食の効用— 岩谷 ナツ ●どうなる日本の米・私たちの暮らし 「日本食の危機、その周辺を考える」 秋田県立農業短期大学助教授 鈴木 直建
第三回	平成4年1月29日 (水)	健康メモ・寝たきりゼロへの第一歩 —脳卒中と骨折予防— 千葉 祥子 ●愛と希望の地域づくり 「高齢化社会とこれからの老人施設のあり方」 秋田県南部シルバー・エリア管理者 藤原 忠
第四回	平成4年2月6日 (木)	●パネルディスカッション 「鷹巣町の在宅介護の充実のために・パートⅡ」 住民、医師、福祉関係者、介護者 北秋田福祉事務所、町長
第五回	平成4年2月20日 (木)	健康メモ・記憶力はいかがですか —ボケの症状と暮らしかた— 福田美保子 ●「こうありたい鷹巣町！」 —みんなの知恵と力を出しあおう—

## 児童手当の認定手続はお済みですか

児童手当制度改正により、平成三年一月二日以後に生まれた第一子については、平成四年一月から新たに支給対象となります。

まだ手続を済ませていない方は町民課福祉係で早めに済ませて下さい。(詳しくは福祉係へどうぞ)

# 虫歯のない子



松葉町・田中あいちゃん



脇神字米ノ位・吉田たかひろちゃん

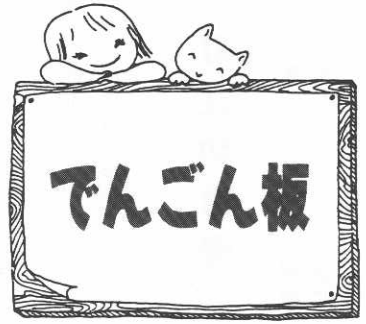
年末年始の役場の仕事は十二月三十日から、来年の三日まで休みとなります。なお次の日程により町民課、税務課は事務を取り扱います。

▽町民課戸籍係 十二月三十日(月) 午前八時三十分～午後五時(戸籍関係、印鑑証明、などの事務)

▽税務課徴収係 十二月二十

○返済期間 二十年以内

- 交通遺児育成資金
- 対象者 自動車事故で保護者が亡くなったり重度の後遺症患者となった家庭の、ゼロ歳児から中学生までの子供
- 申込者 その子を扶養している保護者
- 貸付額 一時金 一四〇、〇〇〇円
- 〥月額 一七、〇〇〇円
- 〥小、中学校入学支度金 三九、〇〇〇円



## 年末年始 役場の仕事

### ご存じですか こんな制度を

九日(日) 三十日(月) 午前八時三十分～午後五時(税金収納事務を行います)

## 役場は、平成四年一月から 第二・第四土曜日が休みとなります

但し、戸籍窓口事務は、休日及び閉庁土曜日においても婚姻届、死亡届の受理、埋火葬許可証の発行を平常どおり行います。

### ◆重度後遺障害者には介護料を支給

○対象者 自動車事故により脳損傷、脊髄損傷を生じ自力移動、自力摂食が不可能などの状態が三カ月以上続いているため、常時介護が必要な人。

○介護料 入院日額 四、〇〇〇円

〥自宅療養日額 二、〇〇〇円

○支払期間 受付をした日から、介護料を支給する理由がなくなる日まで。

### ◆申し込み・問い合わせ先

秋田市八橋大畑2-12-53  
(秋田県自動車会館内3F)  
自動車事故対策センター秋田支所(☎〇一八八-六三一五八七五番)

## 夜間当番医(夜間診療) 日程表

(午後6時30分～9時)

12月	曜日	医療機関名	電話番号
16	月	奈良 医院	62-1146
17	火	佐藤外科消化器科医院	62-1420
18	水	佐々木産婦人科医院	63-0105
19	木	盛岡 外科 医院	62-1101
20	金	戸嶋産婦人科医院	62-1123
21	土	としま 医院	62-1267
22	日	近藤 医院	62-1155
23	月	北秋中央病院	62-1455
24	火	奈良 医院	62-1146
25	水	佐藤外科消化器科医院	62-1420
26	木	佐々木産婦人科医院	63-0105
27	金	藤原 医院	62-2882
28	土	としま 医院	62-1267
29	日	盛岡 外科 医院	62-1101
30	月	戸嶋産婦人科医院	62-1123
31	火	近藤 医院	62-1155

守ってください

## 「診療範囲」

○応急の診療を要する患者。  
○往診はしておりません。  
○仕事や職場の都合で夜間診療を受けるケースは、診療に応じかねます。  
※年齢・病気の症状にかかわらず当番医に電話等でご相談を受けてください。

# 来年四月の入園児受付中!!

## 十二月二十五日まで

### 保 育 園

▼申込先 町民課福祉係または各保育園（申請書はいずれにもありますので、必要な書類を添え提出して下さい）

▼募集人員（内は三歳未満児）

▼鷹巣保育園90人（36）

▼南鷹巣保育園120人（36）

▼七日市保育園60人（12）

▼綴子保育園60人（12）

▼中央保育園90人（30）

▼東保育園60人（12）

▼竜森保育園30人（三歳以上児に限る）

▼入園通知 二月月上旬に面接を行い、二月下旬まで可否を通知します

▼その他不明な点がございましたら町民課福祉係へおたずね下さい

### 町立幼稚園

▼申込先 各幼稚園（入園願書は教育委員会および各幼稚園においてあります）

二、開講日

平成三年十二月十九日

四年一月十六日

二月 六日

二月二十七日

三月 五日

三月二十六日

★時間 各回共午前十時～午後四時

★昼食は各自持参

★申込先 鷹巣町農業委員

会事務局 六二一一一一

主催 鷹巣町農業委員会

鷹巣町農業者青年会議

▼その他不明な点がございましたら教育委員会へおたずね下さい

### 農業簿記講座 受講者募集

米の自由化等農業事情は益々きびしい情勢となっており、自分の経営を確立しきびしい情勢に打ち勝つためにも農業経営簿記講座を左記の通り開講いたしますので多数参加して下さい。

一、場所 鷹巣阿仁広域交流センター、第二研修室

### 保険料の納め忘れ はありませんか

国民年金保険料の納め忘れはありませんか。いま一度お確かめください。

保険料の納め忘れがあると、老後の生活を支える重要な柱となる老齢基礎年金がもらえなくなったり、少なくなったりします。また、思いがけない事故や病気にあっても、障害年金や遺族年金が受けられなくなる場合もあります。

「老後に備えるため」にも「もしものため」にも、保険料は毎月忘れないで納めるようにしたいものです。

## ふるさと 人物伝

佐藤 為五郎

一八九八—一九八九

為五郎は鷹巣中央公園の名づけ親であった。彼は家系譜帳につきのように書き残している。

「昭和二十五年鷹巣町在住の沢口村出身者の会を結成し毎年花見の頃総会を開き一ぱいやっていた。二十七年、秋田魁新聞で県内三十景を投票で決めるといのが出たので堂ヶ岱堤も立候補することにした。そのうち町の助役から堂ヶ岱堤ではおかしいので新しい名を早く決めるようにと盛んに電話がきた。役員六人集



まったがなかなかよい案が出ない。北秋田の中央から中央公園でどうだろうかと私が言ったら、みんなそれでよいという。中央公園は秋田三十景に見ごと当選した。中央公園は町と共にいつまでも続くだろう」と。為五郎は明治三十一年、沢口村堂ヶ岱、小塚仁三郎の長男に生れたが故あって小森の親戚佐藤家に入籍、二十三歳の時土崎にゆき山本家で働く。

大正十三年、鷹巣町に「山本金物店」を開き、釘、ガラス、レール戸車、石油を販売、後「佐藤為五郎商店」と改名し大きくする。

彼は警防団分団長、町議会議員、町内会長、北秋信用組合理事、商工会理事等々幅広い分野で活躍、町内の納税組合長、協力員として表彰されている。

いつも笑顔で人と応待する人であったが、曲があったことが嫌いで家族にはきびしかったと娘聖子さんは語っている。平成元年九十一歳で没。（佐藤聖子、三日田吉治談）文・長崎 久



## おもいやりといたわりの心を

～岩川町長が一日人権擁護委員に～

人権週間が十二月四日から始まり、二日目の五日、一日人権擁護委員に委嘱された岩川町長が街頭でチラシなどを配り人権を訴えました。

人権週間は昭和二十三年に「世界人権宣言」が国連で採択されたことを記念し設けられたもので、人権意識の高揚を目的とし、啓発運動のほかに、困りごと相談所も開設されました。

鷹巣町の人権擁護委員は次の方々です。悩み事をご相談下さい。

- ▽奈良幸恵さん (☎62-1146)
- ▽高坂八衛さん (☎62-0690)
- ▽畠山清吾さん (☎66-2154)
- ▽三沢 愛さん (☎62-3936)
- ▽戸嶋玲子さん (☎62-1817)

魅力ある町づくりを目指して、第一回ヤングマンテーブルが十二月五日、鷹巣中央公民館で開催されました。これは、若者の意見を町の政策に反映させることにより、活気のある町づくりに取り組もうと開かれているもので、この日は、「私はこんな町にしたい」をテーマに、二十一歳から二十九歳までの男女八人が参加しました。参加者からは、大館能代空港効果に即した、大型店、企業誘致、遊び場(憩いの場)整備やログハウス村構想、種苗交換会などに活発な意見が出されました。次回ヤングマンテーブルは、「若者の定住策を探る」をテーマに一月下旬開催予定。参加者を募集しています。

## 第1回ヤングマンテーブル

～行政に若者の声を!!～



# 町長日誌

岩川 徹

11月16日～30日

■17日(土) 〓たかのす讚歌の発表会が体育館で行なわれた。八百二十人余りの吹奏楽と合唱団が、千人を越す聴衆にたかのすの四季おりなす自然とふるさとをやさしくも雄大に歌い上げ深い感動をあたえた。

親から子、子から孫へと永く歌い継がれてほしい。

■20日(水) 〓午前八時公共投資推進についての国会議員との懇談会に出席。続い

すすめていただきたい。」とお祝いを述べた。

■27日(水) 〓東京で開かれた治水砂防促進大会に出席。髭と防災服姿がトレードマークとなった鐘ヶ江島原市長にお会いした。

今も続いている雲仙普賢岳の被害にお見舞いを申し上げたところ、台風十九号の被害を知っておられ励ましをいただいた。

■28日(木) 〓全国町村長会

て高規格道路整備促進中央大会に出席する。

■22日(金) 〓森吉町制施行三十五周年記念式典がコミユニティセンターで盛大に開かれ節目を祝った。隣町の発展を心からお喜び申し上げ躍進をお祈りした。

■23日(土) 〓青少年育成町民会議の結成十周年記念式典が開かれ出席「これまでの実践活動に敬意を表します。今後も積極的に活動を

がNHKホールで開かれ出席。

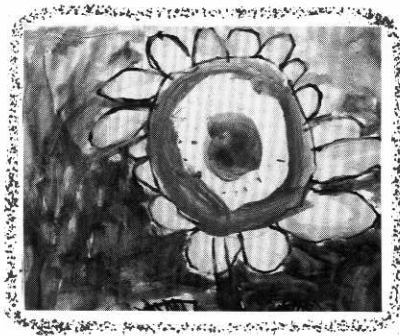
■29日(金) 〓大館能代空港が空港整備五ヶ年計画に組み入れが決定した。午後一時二十八分に町に「決定」を伝えた。感激と喜びが受話器を通して瞬時に伝わってきた。

佐々木知事と一緒に奥田運輸大臣を始め幹部や関係国会議員にお礼のあいさつにまわった。

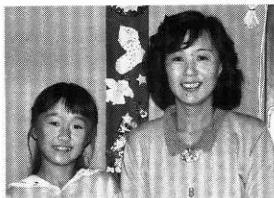
# の広場



鷹巣教会幼稚園  
さとう ゆきのぶちゃん(6歳)



子供の頃、母は寝る前にいろいろな昔話をしてくれました。最後には必ず「どっとはれ」で終わる母の語りは素朴な味わいがあり、大人になった今でも忘れられません。幼稚園では自分で選ぶ絵本の貸し出しがあります。また



「母がしてくれたように」  
坊沢深閑・武藤淑子さん  
悠さん(西小4年)

一日の生活の中でも、テレビを消して静かに本を読む時間を作ってあげようと心がけています。良い本と出会うといつまでも心に感動が残ります。読後の感想をまとめるのも大事なことでないでしょうか。  
下の娘はまだ五歳、絵本が大好き。今日も自分で読んでもらいたい本を片手に、目を輝かせて私にだっこしてもらっているのを楽しみにしています。

## 今月のテーマ 『親子で読書』

### 対談 わたしたちの意見

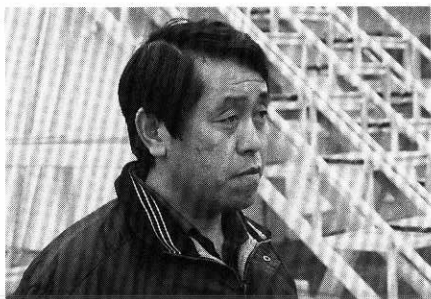
#### 和服タンスの取っ手

昔の嫁入りタンスにはこんな飾り取っ手が付いていた。装飾は重厚で昔の面影があり、それ自体が工芸品として旧家などでは今も保管されている。桐などの和服タンスの引き出しに釘付けし、カギをかけて大切に保管衣類を保管した。  
(松葉町・佐藤 富雄さん)

## わたしの自慢

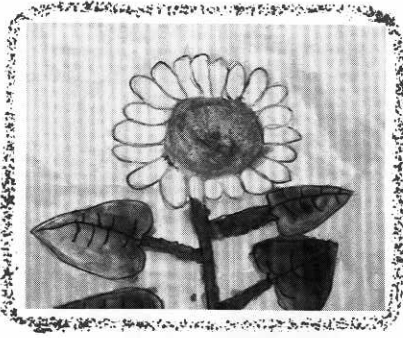
### 陸上競技 河野謙三章を受章 指導者章

鷹巣中学校陸上競技部監督・大川洋一さん(43歳)



小・中学校時代、運動が大嫌いであつた私が陸上競技指導者として章をいただくことができたことは、まさに人生のいたずらでしょうか。  
今回の受章は、マラソンにたとえるなら折り返し地点でゴールにむけて「頑張れよ」との励ましの言葉と受け止め感謝しています。陸上競技の練習や試合を

通して日頃生徒に話をすることは「食事と規則正しい生活について」です。  
また学校生活でも「試合などで勝つても、みんなから祝福される生徒になれ」と話していますが、このことは自分自身にとっても教訓としています。  
ただ、教師の私にとって陸上競技だけが仕事ではないので、他の仕事とバランスをとり練習に出ることは意外と難しいことです。  
しかし、部活動で自分を高める生徒を見る時、また部活動を通して子供を育ててほしいと思う親の気持ちを考える時、できるだけ接してあげたいと思うのです。  
今回の章を与えてくれた生徒、父母、そして地域の皆さんに感謝し、今後の励みにしたいと思います。



鷹巣教会幼稚園  
さとう ゆりこちゃん(6歳)



# みんな



## わが家のアイドル



伊藤あゆみちゃん(平成元年7月25日生)  
清貴・直美さんの二女・坊沢深閑沢7-25

おばあちゃんと散歩に行ってきました。  
普段は活発なあゆみちゃんもカメラの前で  
ちょっと緊張してしまいました。  
元気いっぱい育ててネ(おばあちゃん)



「親子のふれあい」  
綴子掛泥・花田裕美子さん  
しんじ 慎司くん(東小4年)

これからも二人の娘が少し  
でも心豊かな優しい子になれ  
るよう手助けしてあげたいと  
思います。

読書の秋も、わが家では読  
書の夏休み、冬休みになつて  
しまいます。

入学当時から、終業式の日  
には決まって帰りのランドセ  
ルの中に、図書館から借りた  
本が二冊入っていました。そ  
れに感想文を書くための原稿

用紙もあり、それも親子読書

というおまけつきなのです。

子供も親も毎日の忙しい日

課を終え、ホッとしたほんの

わずかな時間、息子自身が選

んだ本を少しずつ大きな声で

読み合おうのです。

四年生にもなるとこんな考

え方をするのかと驚かされる

こともあり、子供と同じ目線

で接することの大切さを教え

られたことが、私たち親子に

は短い夏休みの大きな収穫と

なりました。

幼い頃の絵本の読み聞かせ

から始まった親子読書も、そ

ろそろひとり歩きの読書にな

りつつあるなあと、寂しさの

中にも息子の成長を感じてい

ます。

昭和43年、町が造成した南鷹巣地内の宅地。  
この頃町営住宅はまだ少なく閑散としていた  
が、一戸建のものが建て替えられ、長屋式の  
共同住宅が昭和45年から建設され始めた。55  
年までにJ、K、L、M、N棟の順で建てられ、  
現在では平屋建、二階建を合わせて218  
戸分が建設されている。



## たかのすの移り変わり

# あしらせ



一線美術会運営委員 九島京二さん

## 十二月の健康相談

十二月の健康相談は次のとおりです。

**成人健康相談**は二十五日です。時間は午前十時から午後三時までです。

午前中は血圧測定のほか尿検査、体重測定など、午後は慢性病予防教室で、「ビデオによる健康教育」「お酒と肝臓」について行います。

場所は中央公民館保健相談室です。

◇  
◇  
リハビリ学級は十八日です。在宅脳卒中後遺症の方を対象に行います。

「冬場の健康管理と食物」と「健康相談」です。

時間は午前十時から午後三時までです。

場所は中央公民館保健相談

室と調理室です。

◇  
◇  
四力月児健康診査、七力月児健康相談と離乳食指導は二十四日です。

対象のお子さん、受付時間などは次のとおりです。

▽四力月児検診 八月生まれ 受付時間は午後一時から一時三十分までです。

▽七力月児健康相談と離乳食指導 五月生まれ 受付時間は午前九時三十分から十時までです。

母子健康手帳とバスタオルを忘れずにお持ちください。※場所は、中央公民館ホールです。

### 母子健康手帳 交付と妊婦教室

妊婦を対象とした母子健康手帳交付と、妊婦教室の日程

は次のとおりです。

■母子健康手帳交付と第一回妊婦教室（必ず本人がおいでください。）

▽日程 十二月十六日 受付時間 午後一時から一時三十分（終了時間三時）

▽持参品 印鑑

■第三回妊婦教室

▽日程 十二月十六日 時間 午前十時から正午まで

▽内容 赤ちゃんの扱い方と衣類、沐浴実習、母乳、断乳、家族計画について

※場所はいずれも中央公民館の保健相談室です。

### 検針日の変更

水道課では、水道の検針を毎月月末に行っておりますが十二月は年末のため、二十一日、二十七日の両日に変更させていただきます。

なお、年末年始は寒気により、水道管の凍結などが心配されます。

夜、お休み前にはいま一度蛇口の氷留をお忘れなく。

### 香典返し

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

ご芳志に感謝いたします。

▽本郷 長岐光義さんから亡弟義人さんの香典返し

▽四渡 佐藤正義さんから亡父三太郎さんの香典返し

▽綴子下町 高橋秀男さんから亡母トヨさんの香典返し

▽坊山 藤貞男さんから亡母マツさんの香典返し

▽本郷 長岐正則さんから亡父佐市さんの香典返し

▽品類 宮腰寛さんから亡母ムラさんの香典返し

▽下家下 伊藤武志さんから亡母サトミさんの香典返し

▽中畑 長岐喜久雄さんから亡母ハツさんの香典返し

### 慶弔だより

誕生おめでとうございます

11月16日～30日

藤島美和子(和夫) 長女 新田中

### 固定資産税四期の納期限は

十二月二十五日です

長崎 成俊(成人) 長男 緑ヶ丘  
渡邊 和穂(寿) 長女 宮前町  
佐藤 靖子(朋章) 長女 掛泥  
鈴木このみ(光郎) 長女 坊沢大町  
藤島 侑次(鉄也) 長男 旭町  
松尾 周(聡司) 二男 太田  
千葉 貴裕(博) 長男 中屋敷

■二人の前途を祝福いたします

田中 輝明 岩手県 あぼの町  
渡邊 友美 岩手県  
藤田 晋吾 田代町  
藤嶋 泰子 材木町  
根元 一也 材木町  
鈴木 栄子 大阿村  
佐藤 和宏 湯車  
富樫 理佳子 大館市  
長岐 英実 七日市  
成田 一女 二ツ井町

おくやみ申しあげます

田村 竹治(60歳) 岩坂  
篠内 豊治(64歳) 今泉  
櫻庭 治助(62歳) 松葉町  
米沢 セキ(88歳) 糠沢  
佐藤 イマ(60歳) 坊沢大町  
畠山ヨシエ(83歳) 材木町  
佐藤 恒治(83歳) 松葉町  
小坂 スナ(82歳) 摩当  
津谷 スケ(83歳) 相善